

ベトナム政府が再生可能エネルギー支援強化

2025年3月26日 作成

カテゴリ ベトナム市場調査 環境・再生可能エネルギー

ベトナム政府が再生可能エネルギー支援強化

ベトナム政府は、再生可能エネルギーの発展を促進するため、新たな優遇措置を導入した。特に、電力貯蔵システムを備え、国家電力システムと接続する再生可能エネルギー発電プロジェクトは、ピーク時の電力供給で優先的に扱われることになる。この措置は、電力の安定供給を目的としており、国家電力網の負荷調整を図るものとされる。

また、風力発電や太陽光発電の技術研究や開発も積極的に支援され、太陽電池パネルや風力タービン、電力変換装置の生産も奨励される。これにより、国内の再生可能エネルギー産業の競争力向上が期待される。政策の適用対象となるのは、100%グリーン水素、100%グリーンアンモニア、またはその混合物を利用する発電プロジェクトであり、国家電力システムに電力を供給するもの、そして新エネルギー分野における初のプロジェクトが含まれる。

こうしたプロジェクトには、いくつかの優遇措置が与えられる。まず、建設期間中の最大3年間は海域使用料が免除され、その後9年間は50%の減額措置が適用される。また、土地使用料や賃貸料も建設期間中は免除され、以降は投資・土地関連法に基づいて減免が決定される。さらに、電力契約に関しては、借入金の元本返済期間（最大12年）において、最低契約電力量の70%が保証される。ただし、電力需要の変動や技術的制約によって供給が困難な場合は、この規定は適用されない。

これらの優遇措置は、既定の期間終了後も適用可能な法律に基づいて継続されることになっている。この新たな政策は、2025年3月3日から施行され、ベトナム国内の持続可能なエネルギー開発を加速させる狙いがある。再生可能エネルギーの活用が拡大することで、電力供給の安定化や環境負荷の軽減につながり、ベトナムのエネルギー政策における重要な転換点となることが期待される。

以上